

GCOE ワーキングペーパー

次世代研究 105

若年日本人のアジアへの移住を介したキャリア形成に関する社会学的考察
——90年代以降の香港、上海を事例として——

松谷 実のり

(京都大学大学院文学研究科博士後期課程)

2013年2月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

移民研究は、移住先で下層に入る出稼ぎ労働者等と移住先の上層につく専門職や経営層、駐在員を中心とするグローバルエリートへと大きく二分されている。このように二極化した研究対象の中間領域で、近年ミドルクラス移民とよばれる集団が増加している。グローバルエリートたちが特権化された集団として相対的に自由な移動を行えるのに対し、ミドルクラス移民は移住先の選択においては相対的な自由度を保ちつつも、社会保障や収入、キャリアパス等の面において不安定な状況下に置かれている。

本報告は、若年日本人による香港、上海への移住行動を事例にとり、ミドルクラス移民の移住を介したキャリア形成の実態を探るものである。彼らの移住を通じたキャリア形成の試みが、就労上のトラブルや結婚のようなライフイベントによる影響を受け、どのように変化していくかについて、具体的な事例をもとに考察を行った。

キーワード：移住、若者、労働、現地採用、中国

2010年度次世代研究「若年日本人のアジアへの移住を介したキャリア形成に関する社会学的考察——90年代以降の香港、上海、シンガポールを事例として」（研究代表：松谷実のり）による成果である。

【メンバー】（ ）内は2010年度プロジェクト時点

松谷 実のり（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）